



2025年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月14日

上場会社名 株式会社C a S y 上場取引所 東
コード番号 9215 URL <https://corp.casy.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO 兼CFO (氏名) 加茂 雄一
問合せ先責任者 (役職名) Corporate Design (氏名) 三谷 遼斗 TEL 050(3183)0299
Div. General Manager
半期報告書提出予定日 2025年7月14日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年12月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期中間期	898	—	13	—	16	—	9	—
2024年11月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年11月期中間期 9百万円 (—%) 2024年11月期中間期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期中間期	5.19	5.15
2024年11月期中間期	—	—

(注) 2025年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年11月期中間期の数値および前年同中間期増減率並びに2025年11月期中間期の対前年同中間期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期中間期	607	251	41.4
2024年11月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年11月期中間期 251百万円 2024年11月期 ー百万円

(注) 2025年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年11月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年11月期	—	0.00	—	—	—
2025年11月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,937 ~2,113	—	0	—	0	—	0	—	0.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社すっきりマイスター、除外 1社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年11月期中間期	1,892,000株	2024年11月期	1,892,000株
② 期末自己株式数	2025年11月期中間期	4,301株	2024年11月期	-株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年11月期中間期	1,891,802株	2024年11月期中間期	1,892,000株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(企業結合等関係)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前年同中間連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

（1）当中間期の経営成績の概況

当社は「大切なことを、大切にできる時間を創る。」をミッションとし、家事支援サービスを中心とした、サービス実施以外オンラインで完結できる、暮らしの中の時間を創るサービスのマッチング・プラットフォームである「CaSy」を運営しております。当社は、継続的なシステムの改善や、キャストの品質管理体制の強化を通じて、利便性が高く、コストパフォーマンスの高い安心して利用できる家事支援サービスを提供することで、順調にサービス件数を伸ばしてまいりました。

当社が事業を展開する家事支援サービス市場では、共働き世帯の増加や、世帯内での家事の分担や外部へのアウトソースに対する価値観の変化を背景に、お客様からの需要は安定して増加を続けており、直近では、主に少子化対策を背景として、行政の家事支援事業への補助拡充が実施・計画され、市場拡大が更に後押しされております。

このような状況の下、当社では、キャストの正社員採用を開始し、供給力の強化に取り組んでおります。また、行政との連携においては、当期に新たに東京都豊島区および国分寺市と子育て世帯支援に関する取り組みを実施したほか、提出日現在においては、上記を含む東京都内の5つの自治体と連携を進めており、家事支援サービスの拡充を図っております。さらに、2025年2月には、株式会社すっきりマイスターの株式を取得し子会社化することで、ハウスクリーニングサービスの強化を図ってまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は898,260千円となりました。また、営業利益は13,217千円、経常利益及び税金等調整前中間純利益は共に16,185千円、親会社株主に帰属する中間純利益は9,810千円となりました。

なお、当社は家事支援サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載は行っておりません。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は479,716千円となりました。その主な内訳は現金及び預金341,816千円、売掛金100,695千円です。

また、当中間連結会計期間末における固定資産は127,762千円となりました。その内訳は有形固定資産251千円、無形固定資産64,275千円、投資その他の資産63,235千円です。

この結果、当中間連結会計期間末における総資産は607,478千円となりました。

（負債）

当中間連結会計期間における流動負債は279,623千円となりました。その主な内訳は買掛金88,436千円、1年内返済予定の長期借入金64,623千円、未払金54,386千円です。

また、固定負債は76,486千円となりました。その内訳は、長期借入金76,486千円です。

この結果、当中間連結会計期間末における負債合計は356,110千円となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は251,368千円となりました。その主な内訳は、資本金50,000千円、資本剰余金556,545千円、利益剰余金△351,323千円です。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、341,816千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、営業活動により支出した資金は17,563千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上16,185千円、減価償却費の計上8,060千円、未払消費税等の減少19,866千円、その他資産の増加20,386千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、投資活動により支出した資金は16,201千円となりました。これは、有価証券の取得による支出3,959千円、無形固定資産の取得による支出10,258千円、連結の範囲の変更を伴う子会社取得による支出1,983千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、財務活動により得られた資金は51,221千円となりました。これは、主に長期借入金による収入50,000千円、長期借入金の返済による支出2,433千円、短期借入金による収入20,000千円、短期借入金の返済による支出12,492千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の業績予想につきましては、2025年2月17日公表の「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」から変更はありません。今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	341,816
売掛金	100,695
その他	37,204
流動資産合計	479,716
固定資産	
有形固定資産	251
無形固定資産	
のれん	21,337
その他	42,937
無形固定資産合計	64,275
投資その他の資産	63,235
固定資産合計	127,762
資産合計	607,478
負債の部	
流動負債	
買掛金	88,436
短期借入金	18,333
1年内返済予定の長期借入金	64,623
未払金	54,386
未払法人税等	6,350
その他	47,494
流動負債合計	279,623
固定負債	
長期借入金	76,486
固定負債合計	76,486
負債合計	356,110
純資産の部	
株主資本	
資本金	50,000
資本剰余金	556,545
利益剰余金	△351,323
自己株式	△3,852
株主資本合計	251,368
純資産合計	251,368
負債純資産合計	607,478

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
売上高	898,260
売上原価	560,087
売上総利益	338,173
販売費及び一般管理費	324,955
営業利益	13,217
営業外収益	
受取利息	165
補助金収入	3,143
その他	750
営業外収益合計	4,059
営業外費用	
支払利息	1,091
営業外費用合計	1,091
経常利益	16,185
税金等調整前中間純利益	16,185
法人税、住民税及び事業税	6,374
法人税等合計	6,374
中間純利益	9,810
(内訳)	
親会社株主に帰属する中間純利益	9,810
非支配株主に帰属する中間純利益	—
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
中間包括利益	9,810
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	9,810
非支配株主に係る中間包括利益	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	16,185
減価償却費	8,060
のれん償却額	1,123
受取利息及び受取配当金	△165
支払利息	1,091
補助金収入	△3,143
売上債権の増減額(△は増加)	4,434
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,541
未払金の増減額(△は減少)	3,336
未払費用の増減額(△は減少)	△2,490
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,866
その他の資産の増減額(△は増加)	△20,386
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,871
小計	△19,233
利息及び配当金の受取額	165
利息の支払額	△1,091
補助金の受取額	3,143
法人税等の支払額	△546
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△3,959
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,983
無形固定資産の取得による支出	△10,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	20,000
短期借入金の返済による支出	△12,492
長期借入れによる収入	50,000
長期借入金の返済による支出	△2,433
自己株式の取得による支出	△3,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,456
現金及び現金同等物の期首残高	324,359
現金及び現金同等物の中間期末残高	341,816

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積り実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

当社の事業セグメントは、家事支援サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年5月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,300株の取得を行いました。当該自己株式の取得等により、当中間連結会計期間において自己株式が3,852千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が3,852千円となっております。

(追加情報)

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは当第1四半期連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しております。中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は次の通りです。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 株式会社すっきりマイスター

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は9月末日であります。中間連結財務諸表の作成にあたっては、中間連結決算日との差が3ヶ月以内であるため、当該子会社の決算日時点の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

1. 企業結合の概要

- (1) 被取得企業の名称及び取得する事業の内容
被取得企業の名称 株式会社すっきりマイスター
事業の内容 ハウスクリーニング
- (2) 企業結合日
2025年2月28日
- (3) 企業結合の法的形式
株式取得
- (4) 結合後企業の名称
変更はありません。
- (5) 取得した議決権比率
100%
- (6) 取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 企業結合を行った主な理由

当社は、サービス実施以外はオンラインで完結できる、暮らしの中の時間を創るサービスのマッチング・プラットフォーム「CaSy」を提供しております。

一方、当社が子会社化する株式会社すっきりマイスター（本社：埼玉県志木市、代表取締役：山田 秀治）は、高品質のハウスクリーニングサービスを提供しており、当社が現在提供している家事代行と比較し、より専門的な器具を利用した清掃のノウハウを有しております。

当社のプラットフォームの中でハウスクリーニングサービスの訴求を強化することで、既存顧客への提供価値の向上を見込むとともに、当社のスタッフの採用力を活用した、すっきりマイスターのサービス提供基盤の拡大によるシナジー効果が見込まれることから、当社及びすっきりマイスターの成長を加速させることができると判断し、今回の株式取得を決定いたしました。

3. 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年1月1日から2025年3月31日まで

4. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	15,000千円
取得原価		15,000千円

5. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等の取得関連費用は発生しておりません。

6. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- (1) 発生したのれんの金額
22百万円
- (2) 発生原因
今後の事業活動によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。
- (3) 償却方法及び償却期間
5年間にわたる均等償却

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。